

和良の郷だより

筒号

和良おこし
協議会発行



春なのに 花より鼻笛!?

キャンプ場で鼻笛演奏

4月16日(土曜日)、和良川公園オートキャンプ場に
て参加型の鼻笛演奏会を開催し、鼻笛を楽しみました。



(モスリンさんと鼻笛の演奏を楽しむ参加者達)

4月16日(土)、**「春なのに花より鼻笛!」**と題して、和良川公園オートキャンプ場で花見をしながら鼻笛を楽しむ演奏会を開催しました。

まずはわらおこしで参加者の受付をしました。愛知県江南市川公園オートキャンプ場へ移動しました。この日は前日までの強い雨も上がって、とても良いお天気になりました。川から吹く風は強く、少し肌寒い感じもありましたが、日なたでお日様にあたっているとポカポカして

で活動中している「Delta Walatt」の鼻笛 Club のみなさん、「美濃白川鼻笛 Club」のみなさん、そして「Walatt」の鼻笛 Club の仲間たちの参加と、一般の方の計8名の参加がありました。みなさんが揃ったところで、イベントの趣旨を説明し早速、会場の和良



(モスリンさんの演奏を楽しむ姿)

くる程気持ち良い日差しがありました。会場に着くと、まずはモスリンさんの演奏からスタートします。モスリンさんは日本で唯一のプロ鼻笛演奏家(ハナブエニスト)で、全国各地で演奏されています。和良へも何度も演奏にいられています。その後は希望者で鼻笛演奏を楽しんだり、おしゃべりをしたりして過ごしました。それぞれのクラブごとの演奏もありました。途中、富安秀行さんの「新田舎生活物語」良い塩梅の田舎で暮らす



(最後に記念撮影)

う」を皆で練習して、演奏会の最後には全員で演奏して終了となりました。

感染症の影響で、鼻笛のイベントもなかなかやりにくいこの頃でしたが、この日は屋外での開催ということもあり、モスリンさんも参加者もとても楽しそうに演奏されていました。また、キャンプ場で開催したということもあり、軽快な鼻笛の音色にひかれて、小さな子ども達や一般のお客さんものぞいてくれました。今後も機会があったら屋外での音楽イベントも企画していきたいと思えます。

はざご博士 がやってきた!

4月19日(火曜日)、「日本オオサンショウウオの会」会長の桑原一司先生が和良おこし協議会を訪れてくださいました。桑原先生は1949年、愛媛県松山市に生まれ、

熊本大学大学院理学研究科修士を経て、飼育技師として広島市安佐動物公園に勤務。以後オオサンショウウオの調査研究に従事されています。桑原先生はこの日、和良町で長年オオサンショウウオの

調査に携わってきた大澤和人と、産卵できる場所などを視察するため、主に和良川支流の上流部へ向かいました。和良町には利水の為の堰堤が多く設置されており、道すがら堰堤を見ては「ここはオオサンショウウオは超えられないね」などとお話されていました。しかし一方で、はざごが越えられない堰堤も存在するため、堰堤と堰堤の間ですむ個体もあり、その間の谷などが産卵場所になるそうです。

和良川本流は平成30年の豪雨によって大きく変化を見せています。桑原先生は、以前にも和良を訪れたこともあるので、記憶をたどられて「ここには木工沈床があっていい所だったのね」とコンクリートがはられ、テトラポットの並ぶ川をながめながら感慨深くお話をされました。



(和良川を視察する桑原先生)

集落のお宮を お色直し

4月17日(日曜日)、和良町東野地区にある東野白山神社を集落の方々々が修復作業を行いました。

実は昨年秋季に予定されていましたが、あいにく天候が悪く、この春に持ち越されました。4月29日(金曜日・祝)には春の祭礼を迎えるということで、なんとか間に合わせなければと話されました。作業内容は参道にある鳥居の塗り替え、お社その周辺の悪くなった部分の塗り替えなど、なかなかの仕事量でした。



コロナ禍となつてから和良町では、集つての練習がやりにくいなどから舞子や神楽の奉納が出来ないということで、祭礼でのお披露目がされなくなりました。何年も途絶えてしまうと、これが次に引き継いでいけるのか心配です。大切に守ってきたものを途絶えさせてしまわないように出来るといいですね。そして、新しく和良町に暮らし始めた人達や、和良町に生まれてきた子ども達にも、早く集落の繋がりがお祭りの雰囲気を見せてあげたいですね。

和良鮎の季節が やって来ます!

4月12日(火曜日)から和良川漁業協同組合と地元有志の皆さんの手で放流が行われました。稚魚の一次放流は12日より3日間の行程で行われます。

初日はとても天気が良く、暑いくらいの日になりました。琵琶湖産の稚魚500kgを鳥塚さんから運んでの放流。2日目、3日目もそれぞれ琵琶湖産を500kgづつ放流しました。さらに6月後半には2次放流が600kgが予定されており、本年度の稚魚放流は2100kgを予定しております。



和良川の鮎友釣りの解禁は特別解禁：5月28日(土)・29日(日) 一般解禁：6月5日(日)よりとなっております。

今年も和良川は豊かに流れ、稚魚たちも元気に育って行くのでしょうか。皆さまには和良川を笑顔で訪れていただきたいと思ひます。和良川と和良鮎をどうぞよろしくお願ひします。

(下のQRコードから放流のシヨート動画を視聴できます)



desk snail ライブ開催!!

3月27日(日曜日)は、desk snailさんをお迎えしてライブを開催しました。

desk snailは、Takuro Sudoさんによるプロジェクトの名称です。desk snailは、2年前に続き2度目の来訪となりました。音楽ジャンルは「ベッドルームポップ」で、どこかノスタルジックで、ゆったりとしたテンションのある曲づくりが特徴です。



わらおこしで行われたライブでも繊細なエレキギターからは、さみしさや静けさに寄り添うような優く美しいメロディが奏でられました。

この日は春らしい日になりましたが、まだ夜は少し寒く室内は薪ストーブを焚いてふわふわした空気に包まれ、クリアな音を楽しませていただきました。

イベント掲示板

え、美味しい!!
野草姉さんと作る
野草ランチ

いいあんばいの田舎で野草を摘んで、食べてみませんか?お母は野草ランチを楽しましよ!

和良おこし協議会
2022.5.7(Sat) 9:45 - 14:00
岐阜県郡上市和良町

案内人 郡上市の食文化を伝 野草姉さん

2022.5.14(Sat)19:30Start
MusicCharge 投げ銭・Drink 持ち込み可
わらおこし 岐阜県郡上市和良町下洞5-54

ヤマザキヤマト

ヤマザキヤマト プロフィール

【ヤマザキヤマト プロフィール】
歌う民謡打楽器&HANDPANアーティスト。
楽しく和の音色を奏つたHANDPAN。体からリズムを生み出す
アフリカやブラジルの民謡打楽器を奏でながら優しく伸びやかな歌う。

和良町の人口

令和4年4月1日現在 (カッコ内は前月比)

人口	男性	女性	世帯数
1,586人 (-10)	775人 (-4)	811人 (-6)	679世帯 (±0)